

新規就農先輩の軌跡 No.84

<p>新規就農者の素顔</p> <p>氏名：前川 勇人（まえかわ いさと） 住所：赤穂市 年齢：36歳</p> 	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>経営面積：13ha （水稲5ha、麦4ha、小豆4ha）</p> <p>経営内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 土地利用型作物を中心に、六次産業化（モチ類の製造加工）にも取り組む • 餅米栽培3ha（ハリマモチ、ミヤタマモチの2品種を栽培） <p>労働力：本人、両親（3名） 出荷先：西播磨地域の直売所、スーパー（ヤマダストアー、カワベ等）</p>
<p>就農から現在まで</p> <p>2003年 大学卒業後、カナダワーキングホリデーに参加。ディリーマクレーン（カナダ）で羊の飼育技術と乳製品の加工に従事</p> <p>2006年 赤穂市内の会社に就職し勤務</p> <p>2009年 就農：父親の下で技術習得を開始。その後、就農計画の認定と新規就農定着化事業により大型機械を導入する。</p> <p>2013年 六次産業化（モチ加工）開始</p> 	<p>就農で良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> • 時間に束縛されず自由に仕事ができること。 • 経営にモチ加工部門を導入、自分の創意工夫により販売高が伸びたこと。 <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> • 当初は資金力不足で苦労した。 • 実際に始めてみると失敗の連続。農業経営士や女性農業士等の地域の先輩に指導してもらい技術を習得した。 
<p>農業をめざした動機</p> <ul style="list-style-type: none"> • 会社勤務しながら農業を手伝っていたが、人に使われるのは苦手な性格。両親が農業を営み、既に施設、大型農機具を装備していたので、「やるなら今！」と就農を決意。 	<p>後輩へ贈る言葉、将来のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • MBA塾を受講し、経営改善計画の樹立、販売や情報入手方法、発信力を学んだ。機会があれば是非参加すべき！ • 昔ながらの農産加工品を見直し、オリジナル商品を作り出したい。 • 赤穂市は観光都市なので、直接販売比率100%を目指す。